

LIBRARY OF THE UNIVERSITY OF TORONTO

JICA  
703  
214  
PLV  
BRARY



国別WID情報整備調査

ブラジル

*Brazil : Country WID Profile*

平成9年3月

国際協力事業団

企画部

JICA LIBRARY



1146222 [3]

環境

JR

98-66



1146222 (3)

国別WID情報整備調査  
(ブラジル国)

目次

1. WID/ジェンダーに関する概要と政府の取り組み	
1-1 ブラジルの女性の概要	1
1-2 文化・社会的背景	1
1-3 WID/ジェンダーに関するブラジル政府の取り組み (WID/ジェンダー政策、ナショナルマシーナリー等)	2
2. 主要セクターにおけるWID/ジェンダー	
2-1 教育分野	4
2-2 保健医療分野	7
2-3 農林水産業分野	10
2-4 経済活動分野(鉱工業・手工業・サービス業等)	13
3. 国際機関・その他の機関のWID/ジェンダー関連援助実績	16
4. 情報入手可能組織/人材リスト	17
5. 関連文献リスト	20
6. 当調査実施に関する情報	23
7. 引用文献	23



# 1 WID/ジェンダーに関する概要と政府の取り組み

## 1-1 概要

世界第5位の面積を有する南米の大国ブラジルは、1960年代後半から70年代前半にかけて年10%近い経済成長率を記録し「ブラジルの奇跡」と呼ばれる経済発展を遂げたが、その後、石油価格の高騰や世界的な景気後退によって対外債務が肥大し、インフレ率が1000%を超えるなど、長期にわたり経済の低迷に苦しんだ。しかし、1993年からの新通貨導入を柱とするレアル・プラン実施以降、インフレ抑制、実質GDP成長率上昇（1994年5.7%、国別協力情報ファイル1996）等に効果が現れ、ようやく景気は回復に向かいつつある。

一人当たりのGDPは約2,700USドル（1990年）と途上国中では中進工業国に位置づけられるが（国別医療協力ファイル、1992）、同一国内とは思えないほど大きい社会階層間格差と地域間格差が存在する。国民総所得の所得階層別シェアでは最高所得層20%が全体の67.5%の所得を得ているのに対し、下位の20%は約2%にすぎず（国別協力情報ファイル、1996）、しかもこの格差は拡大傾向にある。各地域の都市部と農村部には大きな格差が存在するため都市部での雇用機会を求めて農村部から都市部へ移住するものが多く、都市部人口比率は75%に達している（UNICEF, 1993）。しかしながら教育レベルの低さ等のために十分な収入を得ることができないものも多く、都市には大規模なスラム（ファベーラ）が形成されており、関連インフラの未整備による水質汚濁、教育施設の不足、住民の健康悪化、治安の悪化等、問題が山積している。

地域別にみると東北部の開発の遅れが大きな問題となっており、東北部の一人当たりGDPは全国平均の約47%で、最も裕福な南東部の35%にすぎない（国別医療協力ファイル、1992）。ブラジルの絶対的貧困層の60%は東北部に居住している（UNICEF, 1993）。保健、教育指標でも東北部の開発の遅れは明らかであり、東北部の妊産婦死亡率は全国平均を40%近く上回っているほか、乳児死亡率は他の地域の2倍にのぼっている。合計特殊出生率は南東部が3以下であるのに対し、東北部では5である（UNICEF, 1995）。また、識字率でも東北部は大きく他地域から遅れている。

女性は就学レベルでは男性とほぼ肩を並べているが、女性の役割に関するステレオタイプの影響もあり専攻分野が伝統的に女性の分野であった人文科学や保健医療に偏っている。そのため、賃金、社会的地位が低い職種に雇用が限られており、教育における女性の進出が雇用における状況の改善に結びついていない。女性の労働参加が増加しているにもかかわらず、女性の貧困層が増加している。また、都市部では女性世帯主が増加しており、全世帯主に占める割合は1980年代の10年間に16%増加して13.7%に達している（UNICEF, 1993）。成人労働力が不足しているために女性世帯主家庭の状況は厳しく、とりわけ、教育レベルが低く低年齢層の子供を抱えている女性世帯主家庭は経済的に追いつめられている。

近年、女性に対する暴力が社会経済階層、人種、民族を問わず、ブラジル社会に広範に存在することが明らかになりつつあり、シェルター設置等の対策が立てられつつあるが、他人に知られたくない問題であることもあり、被害の実数は定かではない。また、性産業従事者の増加も問題となっており、近年、ブラジル全国で50万人にのぼると推計されている少女による売春の急増が特に懸念されている（Silva et al, 1997）。8歳の少女が売春をさせられていたケースも報告されている（前掲書）。また、国際的な人身売買ネットワークによって女性が国外に送り出されるケースや国外からの旅行者を相手とする性産業サービスの隆盛も問題となっている。

## 1-2 文化・社会的背景

ポルトガル、スペイン、イタリア、ドイツ等のヨーロッパ系住民が55%、先住民インディオと移民との混血系住民が38%、黒人系住民が6%、アジア系住民が1%と（国際協力推進協会、1990）、植民地時代の奴隷制や積極的な移民受け入れの結果、人種的に非常に多様な社会を形成している。しかしながら全人口の90%がカトリックで国民のほとんどは公用語であるポルトガル語を話すなど、文化的同質性は高い。

マチズモを尊重する文化が男女間の関係にも影響を与えており、女性には妻、母としての役割が強調され、男性は女性を保護しなければならないとされる。性道徳においても伝統的に男性には大幅な自由が与えられ

ていた。家族は近親者や代父母までも含む大家族の形態をとることが伝統的であったが、若い世代の間ではこのような価値観は急速に衰えつつある。家族の中心は父親であるが家庭内の事柄については女性もかなりの決定権を持っているとされる。しかしながら、民法上は男性が夫婦の居住地の決定や親権についての権利を有しており、女性に与えられる権利はいまだに大きく制限されている。

### 1-3 WID/ジェンダー分野における政府の取り組み

#### ◆WID/ジェンダー政策

ブラジルは女子差別撤廃条約には1981年に批准している。WID/ジェンダーに関する政策としては、1997年1月に発表された「平等のための戦略：世界女性会議における政府公約実施のための行動綱領 (Strategies of Equality - Platform of Action to Implement Commitments Made by Brazil at the Conference of Beijing)」を基本にして、国際女性デーである1997年3月8日に国家女性政策が発表されることになっている（調査時には情報未入手）。「平等のための戦略」のなかで女性の状況を改善するために取り組みが表明されているのは、以下の諸点である。

#### 1) 貧困軽減

- ・雇用・収入創出機会への女性の平等な参加促進のためのメカニズムづくり
- ・支援を必要とする弱者層に対する社会サービスの提供

#### 2) 教育の完全普及

- ・男女平等を盛り込んだカリキュラムの作成
- ・男女別カリキュラムの廃止
- ・社会・政治参加促進のための女性への訓練実施
- ・女性受刑者への教育及び職業訓練の提供
- ・リプロダクティブ・ヘルス教育及び性教育の実施
- ・女性を対象にした成人識字教育の実施

#### 3) 保健医療状況の改善

- ・妊産婦死亡率、若年妊娠、性感染症、乳ガン・子宮ガンの低減
- ・安全な避妊方法についての情報提供とアクセス改善

#### 4) 女性への暴力防止

- ・女性への暴力防止のための啓蒙キャンペーン
- ・家庭内暴力・性暴力防止のための省庁横断プロジェクトの実施

#### 5) 意思決定への参加

- ・行政機関、政党、企業内における女性の意思決定過程への参加促進

#### 6) 女性の人権

- ・女性の人権擁護
- ・幼児労働・買売春・人身売買・ポルノ等の禁止
- ・女性の人権に関する教育の法学教育カリキュラムへの導入
- ・女性の人権擁護のために必要な法改正の推進

#### ◆ナショナル・マシーナリー

名称	法務省 国家女性権利評議会 (Conselho Nacional dos Direitos da Mulher, Ministerio da Justicia)
職員数	不明
予算	不明
機能	国家の女性政策立案および実施にあたっての各省庁間の調整



◆他省庁によるWID/ジェンダー関連の主要取り組み事項

警察省	<ul style="list-style-type: none"> <li>・性暴力による被害者救済のための女性保護警察の設置</li> <li>・女性向けシェルターの設置</li> <li>・女性の権利保護を目的とする法律指導センターの設置</li> </ul>
教育スポーツ省	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書物、教材からの女性に関するステレオタイプの記述の除去</li> </ul>
保健省	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊産婦死亡率の引き下げ</li> <li>・乳児死亡率の引き下げ</li> <li>・妊産婦、乳幼児を対象にした栄養指導及び保健サービスの拡充と家族計画の実施</li> </ul>

## 2 主要セクターにおけるWID/ジェンダー・イシュー

### 2-1 教育

- 1) 成人識字率は女性82%、男性82.6%と男女間に差はなく、初中高等教育においては女性は男性以上の成績を上げている
- 2) 女子の専攻は人文科学や保健衛生等、伝統的な女性の役割に結びついている分野に集中しており、労働市場におけるニーズの高い技術系専攻者は少数である
- 3) 女子のなかでは人種間で教育レベルの格差が存在しており、黒人、混血女性の教育レベルは白人女性の教育レベルを下回っている
- 4) 初等教育中退者が多数にのほるほか、教育レベルの地域間格差が大きく、東北部の成人識字率は60.7%と他地域よりも20ポイントも低い

#### ◆概況

8年間の初等教育が義務教育であり、その後3年間の中等教育、3～6年の高等教育が続く。中等教育までは公立校は無料である。国民の平均就学年数は1970年の2年間から1980年には3年間、1990年には5年間へと徐々に改善しているが(Brasil, Government of, 1994)、依然、教員の質の低さ、社会のニーズにそぐわないカリキュラム、地域による教育格差、中途退学の多さ、教育設備・教材の不足、明確な優先目標を設定した教育政策の欠如、予算不足等、様々な教育関連の問題を抱えている。インフレ抑制策として公務員給与が低く抑えられたために教員のなかには副業に精を出すものもあり、ますます教育の質の低下を引き起こしている。南米南部共同市場(メルコスール)への参加やリアル・プランの導入によってブラジルが世界経済に深く組み込まれるようになるにつれ、質の高い労働力の育成が急務となっており、教育の質の向上が強く求められるようになっているが、そのためには教育カリキュラムの改善等、課題が多い。

教育レベルにおいても地域間格差は大きく、東北地域を除いた地域の成人識字率が80%に達しているにもかかわらず、東北地域の成人識字率は60.7%と低所得国の水準にある(国別医療協力ファイル、1992)。東北地域においては、地域内にさらに大きな格差が存在しており、各州都の経済的に恵まれた層と、農村部及び移住労働者が多く住む都市内のスラム地区では、享受する教育サービスの質は全く異なっている。

初等教育の総就学率は105%であるものの、中退者が多いために、初等教育を卒業するのは初等教育入学者の1/6に満たない(国別医療協力ファイル、1992)。留年も多く、8年間の第1課程を修了するのに平均12年を要する。留年をきっかけに退学するケースも多い。留年は第1課程の1年から2年、及び4年から5年に集中している(4年から5年にかけては学習内容が少し高度になるため)。貧困等の理由で通学を継続できない子供が多くいること、正規の教員資格を持たない教員が多く勤務しており高学年児童への指導に困難があることが、中退の主な理由として挙げられている。これらの点に、自らも教育を受ける機会を得る機会がなかった親の意識の低さ、教員のモチベーションの低さ、設備・カリキュラム・教材の不備等の多くの原因が絡み合っ、教育サービスの悪循環とも言える状況をつくりだしている。

#### ◆初・中・高等教育

政府の1992年の統計によれば、女子は初等教育全就学者の50.8%、中等教育では56.8%を占めている(Silva et al, 1997)。都市部では初等教育課程修了者比率は女性が男性をやや下回っているが、農村部では比率に差がないなど、男女間に大きな教育レベルの格差は存在しない。成績面では全レベルで女子が男子を上回っている。年長者においては女性の教育レベルが男性よりも劣っているために成人識字率は女性が男性をやや下回っているが、男性82.6%、女性82.0%とほとんど差はない。ブラジルで教育レベルの違いを生み出す要因は性別よりも地域間格差、社会階層間格差が大きい。貧困世帯の子供は幼少から働くことを余儀なくされ

るため、成績が伸び悩み、多くのものは留年を繰り返す。結果として中退し、非識字のまま成人する子供が多い。また、農村部では学校が近くにないために就学機会を閉ざされる場合も多い。

女性のなかでは人種による教育レベルの格差が存在する。1982年に1年以下の就学経験しかもたない女性は、白人女性では20%であったのに対し、黒人または混血女性においては40%であった。また、9年以上の就学経験を有するものは白人女性では19%であったが、黒人または混血女性では6%にすぎなかった (Brasil, Government of, 1994)。

女子は高等教育の専攻分野選択に際して伝統的に女性の分野であった人文科学や保健衛生系統の科目を選ぶことが多く、教員側もそれを奨励する傾向がある。就学生に女子が占める割合は、心理学86.2%、文学・芸術学84.4%に対して医学24.0%、自然工学18.2%となっており、女子が特定の分野に集中していることがわかる (Brasil, Government of, 1994)。人文系や看護婦等の保健衛生関連の職種は賃金、社会的地位ともに低い分野であるために、就学レベルや成績では男性にひけを取らないにもかかわらず、社会に出ると男性に差をつけられてしまっており、男女の専攻科目に関するステレオタイプの態度を変えることが課題となっている。

#### ◆教員・教材

教育部門は女性が多く雇用されている分野であるが、初等レベルに偏っており、幼稚園の教員では99%を占める女性は高等教育では30%に減少する (Brasil, Government of, 1994)。教員給与が低いために多くの教員は様々な副業に就いており、指導に専念できる状態ではない。正式の教育を受けずに教職に就いているものも多く、教員の質の低さが深刻な問題である。また、政府予算の不足から教科書・教材が充分行き渡っておらず、授業に支障を来している。教員の質の低さをおぎなう目的で、ロベルト・マリーニョやロケーテ・ピントといった財団が支援するテレビによる視聴覚教育が活用されている。

#### ◆成人教育

ロベルト・マリーニョやロケーテ・ピント財団が成人向けのテレビを通じた視聴覚教育を提供しているほか、労働者の質の低さに起因する生産性の低さに危機感を抱いた企業のなかには、独自に教員を雇い入れて基礎教育を始めとする従業員への教育をおこなっているところもある。

#### ◆職業・技術訓練教育

質の高い労働力育成が急務となっているために、職業・技術訓練校の拡充の必要性は高いが、現存する職業・技術訓練校はそれらのニーズにあった教育を提供できてはいない。その理由としては、1) 基礎教育のレベルが低いために学生が技術習得の前提条件となる知識を身につけていないこと、2) 昔ながらの標準化した訓練の提供にとどまっていること、3) 訓練分野が限定されていること等が挙げられる。これらを改善するために、カリキュラムの改訂や指導方法の向上が緊急の課題であるとともに、技術革新のスピードにあわせた職業・技術教育の提供が求められている。女性の職業・技術訓練への参加に関するデータは得られていない。

表1 主要教育指標

指標	全体	女性	男性
成人識字率 1993年 (%)	82.4	82.0	82.6
初等教育総就学率 1992年 (%)	111	N.A.	N.A.
中等教育総就学率 1992年 (%)	43	N.A.	N.A.
10万人あたり高等教育就学者数 1992年 (人)	1,070	1,220	938
政府予算に占める教育支出の割合	N.A.		

出典：人間開発報告書1996、UNESCO, 1995

表2 地域別成人識字率 (%)

	1984	1989 (増加率)
全国	72.9	79.9(9.6%)
北部	77.8	85.0(9.3%)
東北部	52.8	60.7(15.0%)
南東部	81.9	88.1(7.6%)
南部	81.8	88.6(8.3%)
中西部	75.0	82.0(9.3%)

出典：国別医療協力ファイル, 1992

表3 性別居住地別成人非識字率 (%)

	全体	女性	男性
都市部	14.2	15.2	13.0
農村部	40.5	39.9	41.3

出典：Silva et al, 1997

表4 全国および東北部における就学年数別にみた10歳以上人口 (%)

	都市部				農村部			
	男性		女性		男性		女性	
	1年未満	初等教育 修了	1年未満	初等教育 修了	1年未満	初等教育 修了	1年未満	初等教育 修了
東北部	24.8	5.8	22.2	5.7	54.8	1.3	45.8	1.9
全国	12.0	8.3	13.3	8.1	36.5	2.9	32.9	2.9

出典：Brasil, Government of, 1994より作成

表5 就学レベル別人口比率 (%)

	都市部		農村部	
	女性	男性	女性	男性
1年未満の就学経験	13.3	12.0	32.9	36.5
初等教育(8年)修了	8.1	8.3	2.9	2.9

出典：Silva et al, 1997

表6 性別居住地別平均就学年数 (年)

		都市部	農村部	全国
1980	女性	1.5	4.0	3.2
	男性	1.4	4.1	3.3
1989	女性	2.6	5.3	4.7
	男性	2.4	5.4	4.6

出典：UNICEF, 1995

表7 就学生に占める女子の割合 (%)

	1970年	1980年	1989年
初等教育	49.2	50.1	50.9
中等教育	50.7	53.4	57.1
高等教育	42.4	49.2	52.9

出典：Brasil, Government of, 1994

## 2-2 保健医療

- 1) 医師による産前検診・出産介助サービスはかなり普及しているが、大きな地域間格差が存在することに加えサービスの質は低い
- 2) 中絶や帝王切開の件数が多く、妊産婦死亡率を高める要因となっている
- 3) 貧困層の女性や女子の多くは栄養不良であり、妊産婦の貧血が深刻である
- 4) コンドームの普及が進んでいないこともあり、女性のHIV感染者が急増している

### ◆概況

医療分野においても地域間格差は大きく、首都サン・パウロを含む南東部や南部では高度な最先端医療を提供する医療施設が存在する一方で、農村部では基本的な保健医療サービスの恩恵にあずかることさえ困難であり、とりわけ東北部の状況は厳しい。南東部や南部では循環器系疾患等の成人病が死因の約半数を占めているのに対し、北部や東北部（特に農村部）では、下痢症、栄養失調、および種々の感染症が死因の多くを占めている（国別医療協力ファイル、1992）。

政府は地域間格差を是正するため、地方衛生行政を強化し全国的な保健医療システムを構築することを目的として、1990年に新保健医療体制である統一保健医療システム（Sistema Unico de Saude : SUS）の具体策を提示した。その骨子となるのは、1) 地方分権化（州・市への権限委譲）、2) 居住地域での予防・治療の総合的医療サービスの提供（感染症予防、環境衛生等の公衆衛生事業を重視）、3) 住民参加の3点である。また、医療従事者の半数近くが所属する民間医療機関を取り込みながらシステムの構築を目指そうと計画している。

SUSの理念に基づき、女性に焦点を当てた保健サービスプログラムがPAISM（Program of Integral Health Assistance for Women）である。PAISMでは、妊産婦死亡の低減、女性に多く見られる疾患の予防、家族計画推進等を目的として活動をおこなっている。しかしながら、政府予算の削減や当分野の重要性に対する認識の欠如から、プログラムは十分な効果を上げていない。

### ◆母子保健

1990年のブラジルの妊産婦死亡率は220（対10万出生）で、ラテンアメリカ・カリブ海地域平均（190、同）に比較するとやや高い（世界子供白書1997）。妊産婦死亡の主要原因は妊娠中毒症（30%）、出血多量（18%）、感染症などの合併症（15%）、中絶（12%）等であり、これらのうちの90%は適切な検診や処置があれば避けられるものである。妊産婦死亡率に関しても地域間格差は非常に大きく、東北部では300（対出生10万）近いと推定されている（Brasil, Government of, 1994）。乳児死亡率は51（対出生1000）であり、妊産婦死亡率同様、ラテンアメリカ・カリブ海地域平均（38、同）を上回っている（世界子供白書1997）。東北部の乳児死亡率はその他の地域の約2倍の数値となっている（UNICEF, 1995）。

妊産婦の50%が7回以上の産前検診を受け（1回以上は85%）、病院での出産が91%にのぼり、約80%の出産に医師が付きそう（1996年）など、医療サービスへのアクセスは比較的良好である。しかし、サービスへのアクセスには地域によって大きな違いがあり、サンパウロ州の産前検診受診率が80%であるのに対し、東北部のピアウイ州では12%にすぎない（Brasil, Government of, 1994）。また、東北部では妊娠出産に際して何の医療サービスも受けない妊産婦が26%もいる。また、医療サービスの質の低さが問題となっており、訓練不足から出産予定日を数え間違える医師も少なくない。

中絶は、宗教的な価値観から殺人とみなされ非合法であるため、1～3年の懲役の対象になる。そのため、闇に隠れた非衛生的な環境で、しかも危険な方法で実施されている。保健省の推定では、中絶を行う女性は毎年80～100万人にのぼり、そのうちのおよそ1%が死亡している。また、近年、10代の妊娠が増加しており、中絶で命を落とす10代女性の数は過去10年間で2倍以上に増えている。

ブラジルの母子にとって深刻な問題となっているのが栄養不良である。男性に優先的に食事を提供する文化背景から女性の食事は後回しにされ、その結果、十分な栄養摂取が困難になる場合も多い。東北部のバイーア州で行われた社会調査によれば、低所得層の女性の食糧摂取量は男性をかなり下回っている。また、北部アマゾン地域でおこなわれた調査では栄養不良の女性は男性の2倍にのぼっており、栄養不良から鉄欠乏性の貧血を患う妊産婦は全国平均で35%に及んでいる。

#### ◆家族計画

出生率は都市部から低下を始め、1995年のブラジルの合計特殊出生率は2.8にまで低下している（世界子供白書1997）。ブラジルではカトリックの影響もあり政府が家族計画を積極的に推進してこなかったため、NGO等が中心になり家族計画普及をおこなってきた。1990～96年の避妊普及率は66%で（前掲書）、避妊の方法は女性の不妊手術（40%）と経口避妊薬（20%）が多い。しかし、正確な情報の不足から誤った方法で経口避妊薬を服用していることも多いと言われている。

従来、不妊手術は法的に認可されておらず、手術を受けることは困難で費用も高額であった。そのため、ブラジルでは帝王切開の際に不妊手術を施すという方法が広く用いられており、帝王切開は出産全体の31.6%にのぼっている（Brasil, Government of, 1994）。しかし、帝王切開は母体や新生児に与える危険性が高いうえ、保健医療財政上の大きな負担となっていたため、政府は1996年1月に家族計画を規制する法律（憲法第9263条）を制定し、不妊手術を認可したうえで不妊手術をおこなう歳に適切な医療施設を照会することを各保健機関に義務づけた。政府はこの法律により帝王切開件数が減少することを期待している。

#### ◆エイズ

近年、HIV感染者が増加しており、1990年には100万人中15人がHIV感染者であると報告されている（PAHO資料）。感染者の男女比率は1982年に男性31：女性1であったのに対し、1993年には男性5：女性1にまで差が縮んでおり、女性感染者の増加が顕著であるが、その一因としては、コンドームの普及が進んでいないことが挙げられる。ブラジルではコンドームの国内生産量が限られているためにその入手が困難であることに加え、男性がコンドームの使用に強い抵抗感を持っており、エイズ予防に対する認識も不足している。また、コンドームの価格も大多数の国民の購買力に比べると高すぎるものとなっている。サンパウロでの調査によれば、女性HIV感染者の45%は特定のパートナーしか持っておらず、不特定のパートナーを有するのは14.1%にすぎなかった。1991～1993年の間にサンパウロ市でエイズにより死亡した女性のうち75%が主婦であったことから、エイズが家庭内での感染によって広まっていることが明らかであり（Brasil, Government of, 1994）、家族計画と合わせたエイズ対策が早急に求められている。

表1 主要保健指標

人口（人）	161,800,000	低出生体重児の割合1990-94年（%）	31
人口の年間増加率1980-95年（%）	1.9	1歳未満児の予防接種率（%）	
5歳未満人口	17,800,000	結核	100
16歳未満人口	62,100,000	ポリオ	83
出生児平均余命（年）	67	三種混合	83
粗出生率（対1000人口）	24	はしか	88
粗死亡率（対1000人口）	7	妊産婦死亡率（対出生10万）	220
乳児死亡率（対出生1000）	51	保健員の付き添う出産の割合1990-96年（%）	81
5歳未満児死亡率（対出生1000）	60	合計特殊出生率	2.8
5歳未満児の中・重度の発育障害（%）	16	政府予算中の保健予算の割合1990-95年（%）	5

出典：世界子供白書1997

表2 妊産婦死亡の原因

原因	比率 (%)
妊娠中毒症	30
出血多量	18
感染症	15
中絶	12
その他	25

出典：Silva et al, 1997

表3 避妊方法内訳

避妊方法	割合 (%)
女性の不妊手術	40.1
経口避妊薬	20.0
コンドーム	4.4
性交中絶	3.1
リズム式	3.0
男性の不妊手術	2.6
ホルモン注射	1.2
IUD	1.1
その他	0.5

出典：Silva et al., 1997

表4 地域別乳児死亡率 (対出生1000、%)

	1979	1984	1989
全国	85	77	59
北部	87	88	69
東北部	117	115	92
南東部	64	52	35
南部	67	53	39
中西部	71	50	41

出典：国別医療協力ファイル, 1992

表5 乳児死亡原因の内訳 (%)

原因	比率
異常分娩	47.1
消化器感染症	16.4
肺炎	11.4
先天性異常	7.6
栄養障害	4.6
敗血症	3.0

出典：国別医療協力ファイル, 1992

表6 地域別乳児死亡率 (対出生1000) 及び出生時平均余命

	乳児死亡率 (1989)	出生時平均余命 (1980)
全国	59	60.08
北部	69	64.17
東北部	92	51.57
南東部	35	63.59
南部	39	66.98
中西部	41	64.70

出典：国別医療協力ファイル, 1992

表7 地域別合計特殊出生率 (1991年)

全国	3.53
東北部	4.96
南東部	2.96
南部	3.04
中西部	3.38

出典：UNICEF, 1995

表8 地域による保健サービス格差 1990-96年

	全国	都市	農村
総人口に占める安全な飲料水を手入れできる人の比率 (%)	73	85	69
総人口に占める適切な衛生施設を利用できる人の比率 (%)	44	55	4
総人口に占める保健サービスを受けられる人の比率90-95(%)	n.a.	n.a.	n.a.

出典：世界子供白書1997

## 2-3 農林水産業

- 1) 女性も農業に活発に参加しているが、国勢調査上は家事が職業として記載されることが多く、女性の生産への貢献は正確に評価されていない
- 2) 小規模農家の経済状況が悪化し男性が家を出るケースが増えていると言われており、女性世帯主の増加につながっている
- 3) 農業労働者として女性が得る賃金は男性よりも少なく、女性世帯主の経済状況は厳しい

### ◆概況

農業がGDPに占める割合は1960年代以降、工業化が進展するとともに次第に低下し、1970年代以降は10%程度で推移しており、全就業者に占める農業従事者の割合は約25%である（国別協力情報ファイル、1996）。サトウキビ、オレンジ、大豆等の農作物が主要輸出品であり、コーヒー、サトウキビ、オレンジ、大豆、トウモロコシは世界最大級の生産量を誇っている。しかし、政府は農業分野への支援には熱心に取り組んできておらず、生産性向上等の努力はあまり進んでいない。

広大なプランテーションを有する大規模農園と家庭による生産を中心とする小規模農家との間には非常に大きな格差が存在している。1980年代に農業生産に占める輸出品の比重が増え農業の近代化が進むと、小規模農業生産者の多くは打撃を被り生産の多角化をはかろうとしたが、成功した小規模農家は少数にとどまっている。今後の農牧業の展開については、自然条件に適した農作物の開発や品種改良、牧畜業の振興による雇用機会の創出、砂漠化防止の観点からの焼畑農業に代わる農耕法の転換等を図っていく必要に迫られている。

### ◆農業

女性農業労働者は農業労働力全体の36.7%を占め（Brasil, Government of, 1994）、農業労働に活発に参加している。農牧業においては、男性が穀物を生産し、女性が家畜の飼育に携わるというのが一般的な男女の役割分担であるが、苗付けや収穫時には女性も農作業に加わっている。また、世帯が農業と漁業の両方に従事している場合には、男性が漁業を担当し、女性があらゆる農業労働を担っている場合も多い。ブラジルでは農産物の販売は一般的に男性が担当している。近年、女性が土地所有権を得たこともあり、女性が農業労働者組合や協同組合等に参加する割合が増加しており、生産者としての活躍が増している。女性の農業労働者組合員は200万人に達しており、全体の22%を占めているが、管理職レベルにいる女性は6%と少数である（Silva et al, 1997）。

小規模農家になるほど女性が農業生産に果たす役割は大きいですが、多くの場合、女性の労働は夫の補助労働とみなされ、国勢調査では「家事」「無職」が職業として記載されている。そのために、女性が農業生産に果たしている役割は社会的に認識されておらず、統計にも正當に反映されていない。結果として農業政策からは女性への取り組みが抜け落ちてしまっている。

近年、多角化の失敗や一次産品価格の低下等のために小規模農家の状況が悪化するにつれて、夫が移住労働を選んだり家族を捨てて家を出るケースが激増している。このような場合、残された女性が世帯主となり一



家の生活を背負わざるを得ない。しかしながら、農業労働者として女性が得る賃金は労働量が少ないと考えられているために男性よりも低く設定されていることが多く、周辺の労働者として扱われているために十分な所得を得ることは困難である。また、このような世帯のなかで最も厳しい状況に置かれているのが土地なし農民であり、住む家も満足にない家族も多い。

#### ◆土地所有権

ブラジルでは土地は一部富裕層の手に握られており、農民の多くは貧しい土地なし層である。土地の一部の人々への集中は東北部と中西部で最も顕著となっている。1988年に現憲法が施行されるまで、ブラジル女性には土地所有権がなかったが、現在では土地の所有が可能となっている。このような変化が女性の土地所有状況や経済状況にどのような変化をもたらしているかについては、現在のところ、明らかになっていない。

#### ◆農業普及員

技術普及を始めとする農業普及は連邦レベル、州レベルの双方で実施されている。普及員は全国で16,580名にのぼり、3,973カ所の地域事務所を通じて37,200地区の約150万人の農業従事者に対して普及をおこなっている (Silva et al, 1997)。普及員に占める女性の割合は23%である (前掲書)。女性への普及は、家庭経営や農業経営のための技術支援を目的として実施されており、家畜飼育、市場ニーズにあった生産、食品保存・加工、栄養・衛生等の講習がおこなわれている。しかし、前述のように女性の農業労働が夫の補助と位置づけられているため、生産性向上や品種改良を通じた農業生産支援よりも栄養・衛生等に重点を置かれる傾向がある。

#### ◆小規模融資へのアクセス

1988年に現憲法が施行されて初めて、女性が農村金融を始めとする小規模融資を得ることが可能になった。しかしながら、農村における小規模融資の実施状況に関するデータは未整備の状態であることから、憲法改正後の女性の小規模融資利用状況や女性の経済状況へのインパクトは、現在のところ明らかになっていない。

#### ◆水産業

漁業に関する権利について男女間に差異はない。しかし、漁獲そのものは男性の役割であり、女性は網などの漁獲用具の整備等を主に担っている。また、海藻や貝を集めたり、工芸品をつくったりすることも女性がおこなっている。

表1 農業関連指標

GDPに農業が占める割合 1993年	11.0%
労働力人口に占める農業労働者の割合 1990年	23.0%
農業労働力人口に占める女性労働者の割合	36.7%

出典：人間開発報告書1996、Brasil, Government of, 1994

表2 労働力人口に占める農業従事者の割合の変化

1960年	52%
1990年	23%

出典：人間開発報告書1996

表3 全国および東北部における主要農産物の単位収量

	全国 (t/ha.)	東北部 (t/ha.)
とうもろこし	1.97	0.19
フェジヨン豆	0.47	0.12
米	2.04	0.45
キャッサバ	12.48	7.70
綿花	1.27	0.19

出典：Brasil, Government of, 1994

## 2-4 経済活動

- 1) 女性の労働参加は世帯収入の低下による経済的必要性等を受け、1980年代の経済不況下にあっても増加し続けた
- 2) 1980年代を境に若年層が中心であった女性の労働力参加に変化が訪れ、30歳から39歳を中心として全年齢層の女性が恒常的に労働力に参加する傾向がみられる
- 3) 工業・製造業では管理職や意思決定レベルにあるのはほとんどが男性である
- 4) 再生産活動との両立が困難なために、女性のフォーマル・セクターでの雇用には障害が多い
- 5) 男女とも専門知識を有する生産性の高い労働者が極端に不足している

### ◆概況

工業は1960年代以降急速な成長を遂げ、農業に代わる最大の産業となり、GDP中、約40%を占めている（国別協力情報ファイル、1996）。1990年代に入り、工業・製造業界は大がかりな生産の再編成を推進した。しかしながら、1992年からの1年間に工業分野の生産性が9.6%上昇したにも関わらず雇用は約4%減少しており、雇用をとりまく環境は厳しい。また、近年、経済は上向きになりつつあるが、依然、賃金未払い等のケースが多く報告されており、多くの人々にとって雇用が不安定であることに変化はない。行政による効果的な監査がおこなわれないために雇用主は被雇用者に対して果たすべき責任や義務を無視している場合が多く、労働者の権利は保護されていない。

### ◆労働参加

全労働力人口に占める女性の割合は35%であり、ラテンアメリカ・カリブ海諸国平均値とほぼ等しい（人間開発報告書1996）。1960年代末からの経済成長の過程で工業化が急速に進展するとともに雇用機会が増加し、女性の労働参加も急増した。その後の経済危機のなかで失業率が増加した際も、実質賃金の低下が招いた世帯収入低下に起因する経済的必要性、消費性向の浸透、女性の教育レベルの向上、合計特殊出生率の低下により家庭外での労働参加が容易になったこと等の影響で女性の労働参加は特に都市部で増加し続け、減少することはなかった。1980年代に男性の労働力参加（10～60歳）の年間増加率が2.8%であったのに対して、女性は5.0%であったことからこの傾向は裏付けられる。その背景には1970～80年代の不況のなかで産業構造の比重が農業、工業から女性を多く吸収しやすいサービス業セクターに移行したことや女性の労働に対する社会の態度が変化したことも影響を与えている。女性の労働参加は貧困層だけではなく高所得層でも顕著であり、都市部では一人当たりの所得が最低賃金の3倍以上である世帯の妻の50%が働いている。

女性の労働参加は依然、典型的な女性の領域に集中する傾向が強い。教育レベルの低い女性は家事手伝い、農場労働者や工場非熟練労働者、中程度の教育レベルの女性は秘書やウェイトレス、高等教育を受けた女性は教師や看護婦というのが一般的な女性の労働参加である。女性の労働力参加率を年齢別にみると、以前は24歳以下の年齢層で労働力参加率がピークを迎え、その後は家庭内での労働参加の増加を反映して、女性の労働力参加が減少していたが、1980年代以降、30歳から39歳を中心としてあらゆる年齢層で女性は恒常的に労働参加をおこなっている。しかし、東北部では依然、労働力参加のピークは20～24歳である。

### ◆雇用労働

1990年代に入って生産性の向上とともに産業界は好況を呈しつつあるが、雇用数はそれに見合った増加を見せていない。また、女性労働力を吸収する職種はサービス業に集中しているが、職種の内には社会的評価や収入レベルが低いものも多く、結果として女性が得る賃金は男性の54%にとどまっている（UNICEF、1995）。一般的に女性が多く参入する業種は「雇用条件の女性化」、つまり低賃金を招きやすいが、こうした状況の影響を最も強く受けるのは女性世帯主家庭であり、そのなかには最貧層を形成している世帯が多い。また、

このような家庭の子どもたちは就学機会を奪われ労働を強いられていることも多い。

ブラジルでは家事は女性の責任という意識が根強いので、職業と家庭内の責任との両立をはかることに対する男性の協力は得にくいのが現状である。しかしながら、託児所等のサービスは必要とする人口の50%にしか届いておらず、女性が仕事を続ける環境は整っていない (Silva et al, 1997)。そのため女性は、家事や子育てのために雇用を中断されることが多くキャリアを継続して積めないために、与えられる仕事の質が低いものになることも多い。また、人種による雇用環境の違いをみると、平均賃金が最も低いのは、都市部、農村部の双方で黒人女性であることが明らかになっている。1990年の調査によれば、2210万人の女性がフォーマル・セクターにおける雇用労働に携わっており、そのうちの100万人 (4.5%) が公務員、残りが私企業で働いている (Silva et al, 1997)。

技術革新の流れのなかで、専門知識を有する男女労働者への需要が高まっているが、供給が追いついていないことが大きな問題となっている。サン・パウロの縫製工場が出した6名の求人広告には何百人もの応募があったが、職務上必要なコンピューターの知識を持ち合わせるものがいなかったため会社側は雇用をあきらめざるをえなかった (Silva et al, 1997)。

◆インフォーマル・セクター

インフォーマル・セクターに関するデータは、フォーマル・セクターとの境界分けが明確でないこともあり、信頼できるものが存在しない。経済が停滞していた1980年代に増加したインフォーマル・セクター従事者は3000万人とも労働力人口の約半数を吸収するまでになっているとも言われている。また、インフォーマル・セクターによる生産は2500億ドルとも3000億ドルとも推計されている (Silva et al, 1997) が、公式統計にはこれらの生産は反映されていない。フォーマル・セクターで雇用されながら、インフォーマル・セクターに従事するものも少なくない。夜間学校の教員として正式に雇用されても月給は223USドルにしかならないが、サン・パウロで1日に400キロの故紙を回収すれば週100USドル程度の収入となり、下着の販売をすれば1カ月で約2000USドルが手にはいる可能性がある (Silva et al, 1997)。このようにフォーマル・セクターの給与が低いことが、多くの人にとってインフォーマル・セクターを魅力ある収入源としている。

インフォーマル・セクター従事者が男性労働力人口に占める割合は37.5%であるが、女性では労働力人口の半数にのぼっており、女性の生計にとってインフォーマル・セクターは重要な役割を果たしている。しかしながら、インフォーマル・セクターにおいても女性は男性よりも賃金が低く、半日しか仕事をもらえない割合が高いなど、労働環境は厳しい。インフォーマル・セクターに従事する女性の36.6%が家事手伝いに従事しており、インフォーマル・セクターのなかでも最も不安定で労働条件の悪い職種での労働が高い割合を占めている。また、契約書を交わして家事手伝い・使用人として働いているものの比率は男性では38.9%であるのに対して女性ではわずか18.9%であり、女性がより不安定な条件で雇用されていることがわかる。

表1 労働指標

成人労働人口に占める女性の割合 (1990年)	35%	
稼働所得割合 (1993年)	女性 28.6%	男性 71.4%
労働人口の割合 (1990年)	農業 23%	工業 23% サービス業 54%

出典：人間開発報告書1996

表2 就学年数別女性労働力人口率 (%)

就学経験なし	28.2
1～2年	28.6
3～8年	36.3
9年以上	68.8

出典：UNICEF, 1995

表3 地域別女性賃金比率 1988年 (女性/男性、%)

北部	48.4
東北部	55.8
南東部	54.4
南部	48.2
中西部	60.1

出典：UNICEF, 1995

表4 性別居住地別労働力参加率 (%)

	全国				東北部				南東部			
	都市部		農村部		都市部		農村部		都市部		農村部	
	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性
1981年	33.7	71.5	30.6	82.5	30.2	66.9	27.8	80.9	34.9	72.7	25.7	81.9
1990年	40.1	72.8	36.0	82.4	37.7	68.9	34.1	80.4	40.7	73.1	32.0	82.3

出典：Brasil, Government of, 1994

### 3 WID/ジェンダー関連援助実績

プロジェクト/プログラム	実施機関	援助機関	期間	予算 (US\$)	ジェンダーに関する事項
<b>保健・医療</b>					
女性と10代の若者への統合的保健サービス	保健省	UNFPA	1993	2,043,000	1) 女性の健康向上のための公衆衛生サービス 2) 女性と10代の若者のリプロダクティブ・ヘルス向上
人口・性・リプロダクティブ・ヘルス教育	GDF	UNFPA	1994～1997	481,000	10代の若者たちへの安全性生活及び責任を持った計画的妊娠のための情報提供/教育手法の開発
議会情報システムへの女性の健康/リプロダクティブ・ライツに関する情報システム導入	CFEMEA	UNFPA	1994～1995	140,000	女性の健康/リプロダクティブ・ライツに関する情報システムの構築
母子基礎保健活動推進	SES/ CONASS	UNICEF	1995～1996	48,000	母子に関する医療システムを推進するための政策やプログラムの支援
母乳育児推進世界週間96'		UNICEF	1996	16,000	母乳育児推進プロジェクト
母子保健/栄養改善技術協力プロジェクト	保健省他	UNICEF	1995～1997	174,000	母子保健/栄養改善を目的とする関連諸機関の活動計画策定
女性、子供、10代の若者の健康向上プロジェクト	SODAPE	UNICEF	1995	122,000	幼児死亡率低下のための活動のモニタリング/行政機関等の強化
<b>その他</b>					
家庭内暴力対策	NIPAS	UNIFEM	1994～1995	103,000	女性に対する暴力根絶のための政策推進/警察の支援体制強化
北京会議での公約実施を目的とする「国家女性保護委員会」への支援	CNDM	UNIFEM	1996	15,000	ジェンダーに関するプログラム・政策の統合的開発のための能力強化/ブラジル女性のニーズの発掘/ジェンダーに関する政策実施のための専門家の派遣

1US\$=0.97R\$ (96年1月)

#### 4 情報入手可能組織／人材リスト

	名称／氏名 (専門)	実績 (プロジェクト内 容／期間、社会ジ ェンダー分析の経 験等)	報告書／著作等	連絡先
政府	Ministry of Health, Déa Carvalho, Chief Advisor, Cabinete Minister		Saúde no Brasil - Indicadores Demográficos e Sócio - Econômicos (Health in Brazil - Demographic and Socio - Economic Indicators) Ministry of Health, 1987	Esplanada dos Ministérios, Bloco "G", Tel: (061)315-2185, Fax:(061)315- 2599, 70058-902, Brasília - DF
	Ministry of Health, Ana Goreti K. Maranhão, Chief, Assistance to Child's Health Division		Informe Sobre o Grau de Cumprimento da Metas da Reunião de Cúpula em Favor da Infância (Informative Paper on the Attainment of the Goals of the Infance Summit), Ministry of Health, 1996	Esplanada dos Ministérios, Bloco "G", Tel: (061)315-2866, Fax:(061)322- 3912, 70058-902, Brasília - DF
	Ministry of Health Nutrition and Alimentation Institute - INAN, Yedda Paschoal de Oliveira, Secretary, Basic Programs		Prevenção e Tratamento da Anemia Nutricional Ferropriva novos enfoques e perspectivas (Prevention and Treatment of Nutritious Anemia: New Approaches and Prospects), Malaquias B. Filho/Luiz Carlos Ferreira, 1996	SEPN Qd. 510, Bloco "A", Tel:(061)349-0034, Fax:(061)347-0034, 70750-515, Brasília - DF
	Ministry of Health, Maria Goteri P.F. Medeiros Surveillance and Technological Development Unit		AIDS - Boletim Epidemiológico Ano IX, No.4 (AIDS - Epidemiologic Bulletin, Year IX, No.4), Ministry of Health, 1996	Esplanada dos Ministérios, Bloco "G", Sobreloja, Tel: (061)315-2140, Fax:(061)315- 2159,(www.aids.ms.gov.br.), Brasília - DF
	Ministry of Agriculture and Supply/ Library		Tecnologia e Convivência com a Seca : Crítica Alternativa da Pequena Produção (Technology and Coexistence with Drought Alternative Critique of the Small Production) Nilton de Brito Cavalcanti, 1995  Mirando Hacia Beijing 95, Mujeres Rurales en America Latina y en Caribe, Situación, perspectivas, propuestas (Looking Forward Beijing 95, Rural Women in Latin America and Caribbean), FAO, 1995  Informe del Seminario Taller Subregional sobre la Participación de la Mujer en el Desarrollo Rural y la Descentralización (Informative Paper on the Subregional Seminar on Women's Participation on Rural Development and Decentralization ), FAO, 1995  A Mulher na Administração da Empresa Familiar Rural : o caso de um grupo de gestão agrícola em Santa Catarina (Women in the Management of a Rural Household Enterprise : a Case Study in Santa Catarina), Inácio Hugo Rockenbach, 1995  Reorientación de la economía del hogar en los países en desarrollo : un metodo de capacitación para la transferencia de tecnologia (Reorientation of Household Economy in Developing Countries : a Training Method for Technology Transfer), FAO, 1994	Esplanada dos Ministérios, Bloco "D", Anexo B, Tel: (061)218-2613, Fax:(061)226- 8190, 70043-900, Brasília - DF

	名称/氏名(専門)	実績 (プロジェクト内容/期間、社会ジェンダー分析の経験等)	報告書/著作等	連絡先
	<p>Ministry of Social Security and Assistance, Catarina Aparecida Schubert, General Coordinator, Secretary of Social Assistance</p> <p>Ministry of Foreign Affairs / Brazilian Cooperation Agency, Márcio Lopes Correia, Multilateral Cooperation Received</p> <p>Ministry of Foreign Affairs, Diógenes Walter Oliveira</p> <p>Ministry of Planning and Budget - Brazilian Institute of Geography and Statistics Foundation - IBGE /Library</p> <p>Ministry of Planning and Budget - Institute of Applied Economic Research - IPEA Library</p> <p>Ministry of Justice, National Council of Women's Rights, Vitória Lobo, Regional Coordinator</p>	<p>WID/ジェンダー関連援助を含む二国間・多国間援助についての情報</p> <p>元ユニフェム・プログラム担当</p>	<p>Atenção Integral à Criança de 0-6 anos em Creches e Pré - Escolas (Integral Care to Children of 0-6 Years of Age in Nurseries and Kindergartens), Ministry of Social Security and Assistance, 1997</p> <p>Brasil. Conjuntura Econômica (Brazil Economic Conjuncture), Ministry of Foreign Affairs, 1995</p> <p>Anuário Estatístico do Brasil (Brazil Statistics Yearbook), IBGE, 1995</p> <p>Brazil in Brief, IBGE, 1994</p> <p>Assistência Médico -Sanitária. Os Serviços de Saúde, segundo o IBGE (Medical and Sanitary Assistance. Health Services According to IBGE), IBGE, 1996</p> <p>Qualificação Profissional : Uma Proposta de Política Pública (Professional Qualification : A Proposal for a Public Policy ), Alberto dos Santos Vieira / Edgar L. Gutierrez, 1995</p> <p>Qualidade da Educação Infantil. Desenvolvimento Integral e Integrado (Quality of Infantile Education, Integral and Integrated Development) Pedro Demo, 1995</p> <p>Participação da Mulher na Força de Trabalho e Pobreza no Brasil (Women's Participation in Work Force and Poverty in Brazil), Ana Lúcia Soares, 1994</p> <p>A Desigualdade da Pobreza : Estratégias Ocupacionais e Diferenciais por Género (Inequality in Poverty. Occupational Strategies and Differentials by Gender), Ricardo P. de Barros / Ana Flávia Machado / Rosane S. P. Mendonça, 1997</p> <p>Renda e Pobreza : Os Impactos do Plano Real (Income and Poverty : Impacts Caused by Plan "Real") Sônia Rocha, 1996</p> <p>Estratégias de igualdade. Plataforma de ação para implementar os compromissos assumidos pelo Brasil na Quarta Conferência Mundial da Mulher</p> <p>(Strategy for Equality. Platform of Action to Implement the Commitments made by Brazil in the IV World Conference on Women), Ministry of Justice, National Council of Women's Rights, 1997</p>	<p>Esplanada dos Ministérios, Bloco "A", Tel: (061)315-1411, Fax:(061)223-9875, 70059-900, Brasília - DF</p> <p>Esplanada dos Ministérios, Anexo1,#8 andar Tel: (061)411-6850, 70170-900, Brasília - DF</p> <p>Esplanada dos Ministérios, Anexo1, Tel: (061)211-6387, Fax:(061)226-9107, 70170-900, Brasília - DF</p> <p>SDS Bloco "H", Ed. Venâncio II, Sala 213, Tel:(061)225-3381, Fax:(061)225-1970, Brasília - DF</p> <p>SBS Qd. 01, Bl. J. Ed. BNDES, Térreo Telefax:(061)3215-5314, 70076-900, Brasília - DF</p> <p>Esplanada dos Ministérios, Palácio da Justiça, #4 andar, Tel: (061)224-3105, Fax:(061)226-0294, 70064-900, Brasília - DF</p>



	名称/氏名(専門)	実績 (プロジェクト内容/期間、社会ジェンダー分析の経歴等)	報告書/著作等	連絡先
			Beijing 1995 : o século 21 começa na IV Conferência Mundial sobre a Mulher (Beijing 1995 : The 21st Century Begins in the IV World Conference on Women), Ministry of Justice, National Council of Women's Rights, 1995	
国際機関	UNICEF, Arabela Rota, Child's Rights Coordination  Inter - American Institute for Agricultural Cooperation, IICA - Library		Brasil : Pesquisa Nacional sobre Demografia e Saúde (Brazil : National Survey on Demography and Health) UNICEF, 1996  Mulher Brasileira é Assim (Brazilian Women : so they are), Heleieth I. B. Saffioti e Mônica Munõz-Vargas, 1994  A posição social da mulher rural em projetos de irrigação da CODEVASF (Diagnóstico) (The Social Status of Rural Women in Irrigation Projects of CODEVASF (Diagnosis)), Comitê Institucional da Família e da Mulher Rural, 1981  Programa de Análises da Política do Setor Agropecuário frente à Mulher Produtora de Alimentos na Região Andina, no Cone Sul e no Caribe : As Mulheres Produtoras de Alimentos no Brasil. Síntese Nacional  (Analysis Program of the Animal Husbandry Sector in face of food- producing Women in the Andine Region, South Cone and Caribbean. National Summary), Mary Dayse Kinzo e Ito Morandini, 1996  Trabajando com la Familia Rural : Una Alternativa Metodologica (Working with a Rural Family : a methodological alternative), Mabel Cordini e Geysa de Freitas Mendonça, 1984  Mulheres e Desenvolvimento Agrícola no Brasil : Uma perspectiva do Género (Women and Agricultural Development in Brazil : an approach of gender), Mireya Suárez e Mariene Libardoni, 1992	SEPN Qd. 510, Bloco "A", Ed. INAN, Tel:(061)340-1212, Fax:(061)349-0606, 70750-530, Brasilia - DF  SHIS Ql. 05, Bloco "D", Tel:(061)248-5477, 71615-540, Brasilia - DF
NGO	SEBRAE National, Geraldo Oliveira, Department of International Affairs  IPE - Institute for Promoting Equity  CFEMEA - Center of Feminist Studies and Advisory Services		Pequena Empresa é Unanimidade Nacional (Small Company is a National Unanimity), SEBRAE, 1996  O Que é SEBRAE (SEBRAE - what it is) SEBRAE, 1996  Convenção inter - americana para prevenir, punir e erradicar a violência contra a mulher (Inter - American Convention to Prevent, Punish and Eradicate the Violence against Women), IPE, 1996  Guia dos Direitos da Mulher (Guide of Women's Rights), Cfemea, 1994	SEPN Qd. 515, Lote 03, Bloco "C", Tel:(061)348-7728, Fax:(061)347-4120, 70000-000, Brasilia - DF  Rua Capitão Pinto Ferreira, #80, Conjunto 61, Telefax:(011)885-6957, 01423-020, Sao Paulo  SCS Qd. 06, Ed. Venâncio 3000, Bloco "A", Sala 602, Tel:(061)225-1664, Fax:(061)225-2336, 70718-900, Brasilia - DF

## 5 関連文献リスト

文献名	著者	発行年	入手先
<b>概要</b>			
Beijing 1995: a século 21 começa na IV Conferência Mundial sobre a Mulher (Beijing 1995: The 21st Century Begins in the IV World Conference on Women)	Conselho Nacional dos Direitos da Mulher (National Council of Women's Rights)	1995	Conselho Nacional dos Direitos da Mulher (National Council of Women's Rights)
A IV Conferência Mundial da Mulher, Ação pela Igualdade, Desenvolvimento e Paz. Análise (Fourth World Conference on Women: Action for Equality, Development and Peace)	Murta Suplicy	1995	Câmara Federal (House of Representatives)
IV Conferência Mundial Sobre a Mulher (Fourth World Conference on Women)	Nações Unidas (United Nations)	1995	UNDP. Representação no Brasil (UNDP Office in Brazil)
Relatório Sobre Desenvolvimento Humano no Brasil (Report on Women Development in Brazil)	Nações Unidas / IPEA (United Nations)	1996	IPEA
Estratégias e Perspectivas para as Mulheres (Strategies and Prospects for Women)	Vera Soares	1994	D'Elas - Elisabeth Lobo Assessoria
Guia dos Direitos da Mulher (Guide of Women's Rights)	CFemea - Centro Feminista de Estudos e Assessoria	1994	CFemea - Brasília / Brasil
Políticas públicas sob a ótica de gênero (Public Policies - A gender approach)	Fórum Nacional de Presidentas de Conselhos da Condição e Direitos da Mulher	1994	Conselho Nacional dos Direitos da Mulher (National Council of Women's Rights)
Mulher: a grande mudança no Brasil (Women: the Great Change in Brazil)	Revista Veja Especial. Agosto / Setembro 1994	1994	Senado Federal. Biblioteca (Senate / Library)
Estratégias de igualdade. Plataforma de ação para implementar os compromissos assumidos pelo Brasil na Quarta Conferência Mundial da Mulher (Strategy for Equality. Platform of Action to Implement the Commitments made by Brazil in the IV World Conference on Women)	Ministério da Justiça. Conselho Nacional dos Direitos da Mulher (Ministry of Justice, National Council of Women's Rights)	1997	Ministério da Justiça. Conselho Nacional dos Direitos da Mulher (Ministry of Justice, National Council of Women's Rights)
Mulher Brasileira é Assim (Brazilian Women: so they are)	Heleith J. B. Saffioti e Mônica Munõz-Vargas	1994	UNICEF - Brasília - DF
Anuário Estatístico do Brasil (Brazil - Statistics Yearbook)	IBGE	1995	IPEA / Biblioteca (IPEA / Library)
Pesquisa Nacional de Amostra de Domicílios - PNAD (National Home Survey)	Idem	1995	IPEA / Biblioteca (IPEA / Library)
Constituição da República Federativa do Brasil - 1988 (Constitution of the Federative Republic of Brazil - 1988)	Sanado Federal (Senate)	1988	Sanado Federal (Senate)
<b>教育</b>			
Qualidade da Educação Infantil. Desenvolvimento Integral e Integrado (Quality of Infantile Education, Integral and Integrated Development)	Pedro Demo	1995	IPEA / Biblioteca (IPEA / Library)
Análises e Pesquisas Sobre a Realidade Brasileira, Acompanhadas de Propostas Concretas para Ação de Governo. 2 - Educação (Analysis and Research on Brazilian Reality with Concrete Proposals for Government Action. 2 - Education)	Instituto Atlântico	1994	Instituto Atlântico - Rio de Janeiro
Mulheres Cientistas. Ciência Hoje 20(115):40-47, 1995 (Women as Scientists: Science Today 20(115):40-47, 1995)	Fanny Tabak	1995	Câmara Federal Biblioteca (House of Representatives / Library)
Atenção Integral à Criança de 0-6 anos em Creches e Pré - Escolas (Integral Care to Children of 0-6 Years of Age in Nurseries and Kindergartens)	Ministério da Previdência e Assistência Social / SAS (Ministry of Social Assistance)	1997	Ministério da Previdência e Assistência Social / SAS (Ministry of Social Assistance)
<b>保健・医療</b>			
Brasil: Pesquisa Nacional sobre Demografia e Saúde (Brazil: National Survey on Demography and Health)	Sociedade Civil Bem - Estar Familiar no Brasil	1996	UNICEF - Representação no Brasil - Brasília
Assistência Médico - Sanitária. Os Serviços de Saúde, segundo o IBGE (Medical and Sanitary Assistance. Health Services According to IBGE)	IBGE	1996	Escritório do IBGE em Brasília
Material Exposto nos Painéis da X Conferência Nacional de Saúde (Material Exhibited in the Panels of the Tenth National Conference on Health)	Ministério da Saúde, Assessoria Técnico - Gerencial (Ministry of Health)	1996	Ministério da Saúde, Assessoria Técnico - Gerencial (Ministry of Health)

文献名	著者	発行年	入手先
Prevenção e Tratamento da Anemia Nutricional Ferropriva : novos enfoques e perspectivas (Prevention and Treatment of Nutritious Anemia : New Approaches and Prospects)	Malaquias Barista Filho e Luiz Oscar Cardoso Ferreira	1996	Ministério da Saúde - Brasília Biblioteca (Ministry of Health / Library)
AIDS - Boletim Epidemiológico Ano IX, No.4 (AIDS - Epidemiologic Bulletin, Year IX, No.4)	Ministério da Saúde Programa Nacional de Doenças Sexualmente Transmissíveis - AIDS	1996	Ministério da Saúde - Brasília Biblioteca (Ministry of Health / Library)
Informe Sobre o Grau de Cumprimento das Metas da Reunião de Cúpula em Favor da Infância (Informative Paper on the Attainment of the Goals of the Infance Summit)	Ministério da Saúde - Secretaria Executiva Coordenação Materno Infantil (Ministry of Health)	1996	Ministério da Saúde - Coordenação Materno Infantil (Ministry of Health)
<b>農林水産業</b>			
Mirando Hacia Beijing 95, Mujeres Rurales en America Latina y en Caribe. Situación, perspectivas, propuestas (Looking Forward Beijing 95, Rural Women in Latin America and Caribbean)	FAO - Oficina Regional para America Latina y el Caribe (FAO Regional Office for Latin American and Caribbean)	1995	FAO - Escritório de Representação no Brasil, Brasília (FAO Office in Brazil)
Trabajando con la Familia Rural : Una Alternativa Metodologica (Working with a Rural Family : a methodological alternative)	Mabel Cordini e Geysa de Freitas Mendonça	1984	IICA - Brasília
Programa de Análises da Política do Setor Agropecuário frente à Mulher Produtora de Alimentos na Região Andina, no Cone Sul e no Caribe : As Mulheres Produtoras de Alimentos no Brasil. Síntese Nacional  (Analysis Program of the Animal Husbandry Sector in face of food-producing Women in the Andine Region, South Cone and Caribbean. National Summary)	Mary Dayse Kinzo e Ito Morandini	1996	IICA - Brasília -DF
Informe del Seminario Taller Subregional sobre la Participación de la Mujer en el Desarrollo Rural y la Descentralización (Informative Paper on the Subregional Seminar on Women's Participation in Rural Development and Decentralization)	Organización de las Naciones Unidas para la Agricultura y la Alimentación (Food and Agriculture Organization of the United Nations)	1995	FAO - Representação no Brasil - Brasília (FAO Office in Brazil)
Reorientación de la economía del hogar en los países en desarrollo : un metodo de capacitación para la transferencia de tecnología (Reorientation of Household Economy in Developing Countries : a Training Method for Technology Transfer)	Organización de las Naciones Unidas para la Agricultura y la Alimentación (Food and Agriculture Organization of the United Nations)	1994	FAO - Representação no Brasil - Brasília (FAO Office in Brazil)
Tecnologia e Convivência com a Seca : Crítica Alternativa da Pequena Produção (Technology and Coexistence with Drought : Alternative Critique of the Small Production)	Nilton de Brito Cavalcanti	1995	Ministério da Agricultura / CENAGRI (Ministry of Agriculture / CENAGRI)
Mulheres e Desenvolvimento Agrícola no Brasil : Uma perspectiva do Género (Women and Agricultural Development in Brazil : an approach of gender)	Mireya Suárez e Mariene Libardoni	1992	IICA, Representação no Brasil / Brasília (IICA Office in Brazil / Brasília)
A posição social da mulher rural em projetos de irrigação da CODEVASF (Diagnóstico) (The Social Status of Rural Women in Irrigation Projects of CODEVASF (Diagnosis))	Comité Institucional da Família e da Mulher Rural	1981	IICA, Representação no Brasil / Brasília (IICA Office in Brazil / Brasília)
Processo de Extensão Rural e Sistema de Convivência com a Seca no Nordeste (Rural Extension Process and Drought Coexistence System in the Northeast)	EMBRATER	1984	Ministério da Agricultura / CENAGRI (Ministry of Agriculture / CENAGRI)
Captação e Conservação de Água de Chuva no Semi - Árido Brasileiro. I - Sistemas Rurais II - Água para Consumo Humano (Rain Water Collecting and Conservation in Brazilian Semi - Arid Region. I Rural Systems - II Water for Human Consumption)	EMBRAPA / CPATASA	1988	Ministério da Agricultura / CENAGRI (Ministry of Agriculture / CENAGRI)
A Mulher na Administração da Empresa Familiar Rural : o caso de um grupo de gestão agrícola em Santa Catarina (Women in the Management of a Rural Household Enterprise : a Case Study in Santa Catarina)	Inácio Hugo Roekenbach	1995	Ministério da Agricultura / CENAGRI (Ministry of Agriculture / CENAGRI)
<b>経済活動</b>			
A Desigualdade da Pobreza : Estratégias Ocupacionais e Diferenciais por Género (Inequality in Poverty : Occupational Strategies and Differentials by Gender)	Ricardo Paes de Barros, Ana Flávia Machado e Rosane Silva Pinto de Mendonça	1997	IPEA / Biblioteca Brasília / Brasil (IPEA / Library / Brasília)

文献名	著者	発行年	入手先
Participação da Mulher na Força de Trabalho e Pobreza no Brasil (Women's Participation in Work Force and Poverty in Brazil)	Lauro Ramos e Ana Lúcia Soares	1994	IPEA / Biblioteca Brasília / Brasil ( IPEA / Library / Brasilia)
O Que é o SEBRAE (SEBRAE - what it is)	SEBRAE	1996	SEBRAE
Pequena Empresa é Unanimidade Nacional (Small Company is a National Unanimity )	SEBRAE	1996	SEBRAE
Brasil. Conjuntura Econômica , 1995 (Brazil : Economic Conjunction, 1995)	Ministério das Relações Exteriores (Ministry of Foreign Affairs)	1995	Ministério das Relações Exteriores (Ministry of Foreign Affairs)
<b>その他</b>			
Convenção inter - americana para prevenir, punir e erradicar a violência contra a mulher (Inter - American Convention to Prevent, Punish and Eradicate the Violence against Women)	Organização dos Estados Americanos (Organization of American States)	1996	CLADEM - Brasil e Instituto para Promoção da Equidade
Mulheres sem medo do poder : chegou a nossa vez. Cartilha para mulheres candidatas a vereadoras (Women fearless of Power. it is our Turn. A guide to women wishing to run for country representatives)	IPEA / DIPES	1996	IPEA - Biblioteca em Brasília / Brasil ( IPEA - Library in Brasilia)
O acesso das mulheres à cidadania : questões em aberto (The Access of Women to Citizenship : open issues)	Albertina de Oliveira Costa	1991	Câmara Federal / Biblioteca (House of Representatives / Library)
Programa Nacional de Direitos Humanos (National Program of Human Rights)	Ministério da Justiça (Ministry of Justice)	1996	Ministério da Justiça (Ministry of Justice)
Qualificação Profissional ; Uma Proposta de Política Pública (Professional Qualification : A Proposal for a Public Policy )	Carlos Albeto dos Santos Vieira e Edgard Luiz Gutierrez Alves	1995	IPEA - Biblioteca, Brasília- Brasil ( IPEA - Library - Brasilia)
Dívida Comprime Gastos Sociais do Governo (Debt Crushes Government Social Expenditures)	José Roberto de Toledo. Jornal Folha de Sao Paulo, 13.02.97, página 1-9	1997	Câmara Federal - Biblioteca - Setor de Recortes (House of Representatives / clipping)
Infância e Desenvolvimento : Desafios e Propostas (Infance and Development : Challenges and Proposals)	Antônio Rocha Magalhães e Walter Garcia	1993	IPEA - Biblioteca em Brasília- Brasil ( IPEA - Library in Brasilia)
Renda e Pobreza : Os Impactos do Plano Real (Income and Poverty : Impacts Caused by Plan "Real")	Sonia Rocha	1996	IPEA - Biblioteca ( IPEA - Library in Brasilia)

## 6 当調査実施に関する情報

### ◆ローカル・コンサルタント

Jairo Ribeiro da Silva  
SHIN Q1 04, Cj. 3, Cs 15  
Tel. (061) 577-2962  
Code: 71.510-230 - Brasilia - DF - Brazil

Paulo Cesar de Azevedo  
SQS 205, Bloco I - Apt. 407  
Tel. (061) 244-4020  
Code: 70.235-090 - Brasilia - DF - Brazil

### ◆面談者

記載なし

## 7 引用文献

国際協力事業団、1992、「国別医療協力ファイル：ブラジル」、国際協力事業団

国際協力事業団、1994、「ブラジル連邦共和国人口・母子保健基礎調査報告書」、国際協力事業団

国際協力事業団、1996、「国別協力情報ファイル：ブラジル」、国際協力事業団

国際協力推進協会、1990、「ブラジルの経済社会の現状 第4版」、国際協力推進協会

UNDP、1996、「人間開発報告書1996」、UNDP

UNICEF、1996、「世界子供白書1997」、UNICEF

Brasil, Government of, 1994, Country Report for the 4th International Conference on Women in Beijing (日本語抄訳、原文ポルトガル語), Brasil, Government of.

Silva, da, Jairo Ribeiro et al, 1997, Country Profile Study on WID: Brazil, JICA, Brazil.

UNESCO, 1995, World Education Report, UNESCO.

UNICEF, 1993, Situation Analysis: Country Programme 1994-2000 "Children and Adolescents: Rights to Have Rights", UNICEF, Brazil.

UNICEF, 1995, Country Summaries of Girls and Women in Latin America and the Caribbean, UNICEF Regional Office for Latin America and the Caribbean.





